



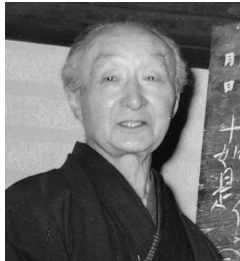
町史編さん室だより

vol.29



村木清一郎『譯萬葉』と出版社「龍星閣」 町史編さん協力員 橋本 聡美(民俗担当)

町史編さん協力員として、民俗編の「小坂ゆかりの先人たち」の一部を担当しています。今回は小坂出身の文学者村木清一郎と、同じく小坂出身の澤田伊四郎が立ち上げた出版社「龍星閣」との関わりをご紹介します。



村木清一郎

村木清一郎は、明治20年(1887)小坂町大地に生まれました。早稲田大学卒業後、小坂小学校の代用教員、小坂実科女学校(現在の小坂高校)教諭を経て大館中学校(現在の大館鳳鳴高校)教諭となり、昭和30年(1955)の退職まで教壇に立ち続けました。その傍ら歌人としても活動し、昭和25年(1950)には生涯唯一の歌集『朝月夜』を出版します。また、万葉集の研究に意欲的に取り組んだことでも有名です。

村木清一郎の代表的な著書と言えば、『譯萬葉(訳万葉)』です。万葉集の句の数・音の数を変えず、原歌の韻を忠実に踏みながら口語訳したもので、清一郎の語彙力や知識量はもちろんのこと、すばらしい文学的センスがうかがえる書籍です。この『譯萬葉』は、昭和30年に予約限定出版されましたが、完成度の高さが話題となり、翌年に筑摩書房で再刊されます。

実はこの『譯萬葉』は当初、昭和18年(1943)に出版される予定であり、その出版社が「龍星閣」であったということが最近の調査で判明しました。「龍星閣」は、清一郎と同郷である小坂町大地出身の澤田伊四郎が昭和8年(1933)に創業した出版社です。平成29年(2017)に小坂町の郷土館へ、伊四郎や「龍星閣」に

関わる資料が多く寄贈され、その中から日本出版文化協会へ提出する『譯萬葉』発行に関する企画書と発行申請書が見つかりました。

戦時中の出版業界では、日本においてより優れた図書を普及させること、限られた用紙を効果的に分配することなどを目的とした図書の推薦事業が行われていました。伊四郎は自身が出版する書籍に強いこだわりを持っており、「龍星閣」の出版物は美しく立派な装丁が特徴です。戦時下では思うような本の出版ができず、『譯萬葉』も出版の許可が下りなかったと思われる。

企画書や申請書には、『譯萬葉』を全10巻の大型本としたものと、全5巻として判型を小さくしたものの2種類の発行案が記されていました。巻数や紙の大きさを調整しながら出版への道を模索していたことがうかがえます。



澤田伊四郎

出版予定日は昭和18年3月20日、全5巻の発行案の提出日は同年1月8日となっています。つまり、この時点でほとんど原稿は完成しており、許可が下りればすぐに出版できる状態まで出来上がっていたことが分かります。さらに

企画書の裏には、この本がどれほどの偉業であるか、内容のすばらしさを訴えた伊四郎自筆のメモが付いていました。出版されるものが限られていた状況下で、『譯萬葉』に強いこだわりを持ち、なんとか出版させようと尽力した伊四郎の、並々ならぬ思いが伝わってきます。

融雪装置設置費補助事業

町では、冬期間における快適な生活空間の確保と町民の雪処理にかかる負担軽減を図るため、融雪装置設置費用に対して補助金を交付します。

対象装置	補助額
●融雪槽 ●融雪機 ●ロードヒーティング ●屋根融雪	工事費×1/3 (最大30万円)



落雪の恐れがある屋根には雪止めを設置しましょう

屋根雪の道路への落雪は、交通を遮断するだけでなく、人命に関わる場合がありますので、屋根雪の落下防止の雪止めを設置してください。

雪止めの設置や屋根の補修にも住宅リフォーム補助金が適用になる場合がありますのでご相談ください

■お問い合わせ先 建設課建設班 (TEL29-3910)

町営住宅入居者募集

渡ノ羽ハイツA-1号(若者定住促進住宅)

- 【住所】 小坂鉦山字渡ノ羽14-1
- 【家賃】 35,000円(駐車場使用料別途)
- 【概要】 木造2階建ての1階、1LDK
- 【入居資格】 単身入居可・所得下限あり
世帯主が町外者で40歳未満
- 【申込締切】 10月23日(金)

栄町住宅5号(公営住宅)

- 【住所】 小坂鉦山字栗平14-1
- 【家賃】 20,100円~46,200円
- 【概要】 木造2階建て 2戸1棟 3LDK
- 【入居資格】 単身入居不可・所得制限あり
- 【申込締切】 10月23日(金)

申込方法 「町営住宅入居申込書」に、家族全員分の「住民票」「所得・課税・扶養証明書」「完納証明書」を添えて、建設課建設班に申込みをしてください。

■お問い合わせ先 建設課建設班 (TEL29-3910)